

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2024. 10. 30

No. 721

2024年年末手当交渉 収入動向

10月29日に行いました。以下、報告します。

輸送動向について(2024年9月分)

本年は台風10号等の自然災害に加え、当社の輪軸組立作業における不正行為に伴う貨車緊急点検により、一時的に列車の運行を停止させたこともあり多数の列車に運休や大幅な遅れが生じたほか、一部貨車の運用停止に伴う編成両数の減の影響もあり、輸送実績は前年を下回った。コンテナは、上記の輸送障害や不正行為の影響があり、積合せ貨物、食料工業品、農産品・青果物等を中心にすべての品目において前年を下回る実績となった。コンテナ全体では前年比90.5%となった。車扱は、石油が、当社不正行為に伴う列車運休の影響があったものの、堅調な荷動きにより全体では増送となった。一方、石灰石は、顧客の設備改修に伴う出荷調整により前年を下回った。車扱全体では前年比96.8%となった。コンテナ・車扱の合計では、前年比92.3%となった。

輸送動向について(2024年度上半期)

円安等による物価上昇の影響により個人消費が低迷したこともあり全般的な荷動きは鈍く、輸送量は伸び悩んだ。また、本年は8月の台風10号接近・上陸、当社の輪軸組立作業における不正行為、新潟・秋田地区大雨等の影響があったものの、2024年問題を背景とした鉄道シフトの動きが続いたこと等により、ほぼ前年並みの実績となった。

コンテナは、食料工業品が、猛暑の影響もあり飲料水を中心に出荷が旺盛に推移したことや2024年問題による一部顧客における鉄道シフトの取組みが続いたこと等により好調な荷動きとなり、前年を上回った。紙・パルプは、ペーパーレス化の進展に伴う紙の需要減が続く中、一部顧客における鉄道シフト等により堅調に推移したほか、家電・情報機器は、家電需要が堅調で鉄道へのシフトもあり増送となった。コンテナ全体では前年比100.6%となった。車扱は、石油が長期連休等における帰省・レジャー需要増加によりガソリン及び軽油が前年を上回った一方、セメント及び石灰石は、顧客における定期修繕計画の変更や設備改修に伴う影響により、前年実績を下回った。車扱全体では前年比97.3%となった。コンテナ・車扱の合計では、前年比99.6%となった。

(営業部)

組合・不正行為があり、荷主からは相当厳しい言葉を頂いたと思うが、信頼回復に向けてどのように取り組んでいるのか具体的に教えてほしい。

会社・特別保安監査は継続中であるが、不正行為などを二度と起こさないように対策に努めていく。

組合・不正行為のため、列車編成を短くして運行しているが、どの程度の減収予想を立てているのか。

会社・輸送枠調整などを行い、なるべく減収にならないように努めている。編成減車についても年末に向けて、解消できるように進めている。

組合・台風10号の影響では多くの列車運休を余儀なくされたが、どのくらいの減収となったのか。

会社・輪軸関係の減収と合わせて9月は約10億円の減収である。

組合・一時、△20億程度まで収入が下がったが、営業日報年間累計輸送実績収入対計画全国計をみると100%を超えている。順調に進んでいるとみて良いのか。

会社・10月に計画の見直しをおこなったためである。

組合・商品作りや列車遅延における対応等、荷主やお客様の要望に応えきれていない部分があると思うが、どのように感じているか。

会社・災害時にはBCP対策として、列車の迂回や代行など、少しでもお客様の荷物を救うために努力している。

組合・鉄道輸送から他の輸送機関にシフトしたお客様がいるが、鉄道輸送に戻って来られるお客様はいるのか。また、戻って頂くような営業活動をどのように進めているのか。

会社・2024年問題によるトラックドライバーの時間外労働規制などもあり戻ってくるお客様もいる。継続した営業活動を実施していく。

組合・過去の交渉で、「2024年問題を迎えるにあたり、500km前後の中距離帯のニーズが見込まれる。これを取りこぼすことなく営業活動を行っていく。その際、柔軟な運賃設定等も取り組み、積載率を向上させ収支改善を図りたい」と会社は発言したが、現時点、ニーズの期待に応えられているのか。

会社・関東～広島間の輸送などを含めて、中距離帯のニーズについては当初の予定通り応えている。

組合・輸送コストが上がっているが、運賃改訂は考えているのか。

会社・運賃改定は昨年実施しているため、現時点の新たな改定は考えていない。

組合・10年前に比べると営業費用が約100億円近く上がっており、物価上昇もあり致し方無い部分もあるが、営業費用を抑えるため、経費削減には具体的にどのようなことを取り組んでいるのか。

会社・営業部に限らず、社内会議等はリモート会議やWEB会議を取り入れるなど出張費の抑制に繋げている。その他情報収集のための雑誌・新聞等の購入、業界団体への参加費用、当社で作成している冊子など、経費削減できるものはしている。

組合・グループ会社の業績はどうか。

会社・上期決算の締め作業中であるため、回答を控えたい。

組合・中間決算はどのようになりそうか。

会社・プレス前であるため、回答を控えたい。

組合・不正行為もあり信頼回復に向け努力しながら営業活動を進めていかなければならないが、この窮地を打破するべく鋭意努力して頂きたい。私達は安全安定輸送に努めていく。

会社・輪軸不正問題において臨時作業等にご協力頂き感謝申し上げます。会社としても、安全安定輸送に努め、お客様の信頼回復に向けて努力していく。

(人事部)

組合・計画を見直したが、台風10号や不正行為が発覚しながらも、会社の業績は対計画通りに進んでいる。これは社員一人一人の頑張りであることは間違いない。失った信頼回復に向け、相当な覚悟をもって業務についており、この頑張りには会社としての誠意を見せてほしい。

1998年度期末手当、夏季2.15 年末2.1 年間4.25を最後に、25年間という長い間、期末手当年間4ヶ月に届いていない。この数値は他の企業と比べても低額であることは明白であり、「JR貨物の未来は明るい」と会社が発信しても、労働条件の最たる賃金を上げなければ将来への不安不信は拭えない。会社が覚悟を決めて労働条件改善を推し進めていかなければ、優秀な人材は確保出来ず、雇った優秀な人材は逃げていく。現場で働く悲痛な叫びに応えるべく、さらには、人材確保競争に勝ち抜き、JR貨物ブランドをさらに上げていくためにも、回答日には誠意ある回答をお願いしたい。

会社・頂いた意見はしっかりと社内で議論し、次回会社の考えで示していきたい。

組合・次回、会社の考えは、11月7日でよいか。

会社・その日を予定している。

組合・改めて誠意ある回答をお願いしたい。

以上
